

東京2013 災復興支援 民体育大会

府中郷土の森総合体育館

Men's

成年男子決勝は、昨年と同様、東京都と青森県の対戦となり、日本代表メンバーの磐石な布陣で臨んだ東京都が2年連続6回目の優勝を挙げた。全試合通して失点はわずか1点という圧倒的な強さで、地元東京を盛り上げた。2位の青森県も決勝戦までは失点がなく、実力者揃いの決勝戦は見ごたえのある好プレーの連続だった。



優勝 東京都 右から、田崎俊雄監督、松平賢二、松平健太、高木和卓

第68回国民体育大会は、9月29日(日)～10月3日(水)、府中郷土の森総合体育館で開催された。大会愛称は「スポーツ祭東京2013」。「団体」と表記されないのは、初めてで「スポーツの夢と感動を伝えるひとつの祭典」という意味が込められている。



安定したプレーで決勝点を挙げた松平賢二



決勝では大矢に逆転勝利し、優勝を引き寄せた高木和卓



完璧な両ハンドプレーで圧倒した松平健太



威力のあるフォアで得点を重ねた上田

パワフルなプレーと勢いでチームをけん引した大矢英俊

右から、河野満監督、大矢英俊、上田仁、町飛鳥 **準優勝 青森県**



右から、新貝博監督、小野竜也、水野裕哉、軽部隆介



3位 宮城県

東京都から唯一勝ち星を挙げた軽部隆介



右から、阿部一道監督、有延大夢、平野友樹、吉村真晴



3位 山口県

気迫あふれる平野友樹は予選リーグで要所で活躍し、ベスト4入りに貢献



Women's

スポーツ祭 東日本大震 第68回国

9月29日(日)～10月3日(水)



優勝 山口県 右から、石川久美監督、石川佳純、重本幸恵、永田彩夏、廣木亜弥



今年は、成年男子が16、成年女子が32、少年女子が20
チームで、それぞれ、厳しい予選を勝ち
抜いてきており、少年男子は全都道
府県が出場。開催地の東京都が
推薦出場した。



リーチを生かした
両ハンドドライブで優勝に
貢献した重本幸恵



決勝では貴重な勝ち星を
挙げた永田彩夏



圧倒的な強さでチームをけん引
した石川佳純は、決勝点を
挙げて喜びを爆発させた

成年女子決勝は、石川佳純擁する山口
県と地元東京都が対戦。トップで石川が
天野優に勝利し先制したが、2番で
阿部恵(東京都)が重本幸恵に競り勝ち
1-1。3番は永田彩夏(山口県)と三浦
由美子の中央大同期対決となり、三浦が

ゲームオールの10-8でマッチポイント
を握ったが、ここから永田が4連続得点
し逆転勝利を収めると、4番の石川が公
式戦で勝ち星のない阿部を相手に3-0
で勝利し、初優勝を果たした。3位は、
青森県と広島県だった。

準優勝 東京都 右から、西村卓二監督、阿部恵、天野優、三浦由美子、伊積さくら



サーブスから三球目攻撃の
速攻プレーが光った天野優



粘り強いプレーでエースとして
活躍した阿部恵

右から、橋本大二監督、土井みなみ、土田美紀、松田みのり



3位 広島県

準々決勝の静岡県戦では
ラストで得点しベスト4入りに
大きく貢献した土井みなみ



右から、三上雅也監督、松澤茉里奈、丹羽美里、鈴木李茄



3位 青森県

威力のあるバックハンドは
大会随一の松澤茉里奈



東京2013
災復興支援
民体育大会

府中郷士の森総合体育館

Boy's



優勝 青森県 右から、板垣孝司監督、森園政崇、坪井勇磨、及川瑞基

少年男子決勝は、青森県と愛知県が対戦。高校No.1の森園政崇、及川瑞基が1-2番で先制し王手をかけ、3番坪井勇磨がそれまで全勝だった松田尚樹に3-1で競り勝ち、3年連続17回目の優勝を達成した。3位には、岐阜県と山口県が入った。



決勝ではトップで逆転勝利を収め、流れを引き寄せた及川瑞基



積極的な攻めで決勝点を挙げた坪井勇磨



前陣でのスピードが魅力の森園政崇は大会を通して全勝し、実力を見せつけた

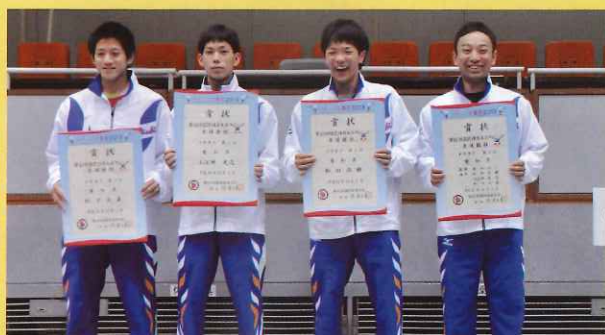
右から、真田浩二監督、松田尚樹、上江洲光志、松下大星 **準優勝 愛知県**



後陣でのしのぎ、前陣での攻撃などプレー領域の幅を見せた松田尚樹



準決勝の山口県戦では2勝し、チームに貢献した松下大星



右から、橋津文彦監督、吉村和弘、平野晃生、南波裕輝



3位 山口県

バックハンドからの展開に上手さを見せた南波裕輝



右から、近藤琢爾監督、坂野申悟、郭帥、酒井明日翔



3位 岐阜県

センスあふれるボールさばきが光った酒井明日翔



Girl's

スポーツ祭
東日本大震
第68回国

9月29日(日)~10月3日(木)

少年女子決勝、岐阜県と埼玉県の対戦は4時間に及ぶ大激戦となった。前半、岐阜県が2-0と先制。3番もカットの王佳玉(岐阜県)が平佑里香に2-0の1-4と王手をかけたが、平が驚異の粘りを見せ8連続奪取し、流れを引き寄せた。



優勝 岐阜県 右から、横谷淳監督、加藤知秋、王佳玉、加藤杏華、山田春花

続く4番の牛島星羅(埼玉県)も加藤知秋との接戦を制し、ラストまでもつれる展開。しかし最後は加藤杏華(岐阜県)が落ち着いたプレーで確実に点数を重ね、3-0で勝利。19年ぶり2回目の優勝を飾った。3位は、青森県と山口県だった。



カットと攻撃のバランスが
冴えた王佳玉



全勝でチームに大きく貢献した
加藤杏華。準決勝、決勝の勝負どころ
で強さを見せた



バックでチャンスを作り、
威力のあるフォアで決めるプレーが
光った加藤知秋

準優勝 埼玉県 右から、平亮太監督、平佑里香、平真由香、牛島星羅



準決勝の山口戦では貴重な
勝ち星を挙げた平佑里香



カットで粘りチャンスボールを
逃さず攻めた牛島星羅

右から、小林明史監督、高橋美帆、村上莉加、石川梨良、乙井麻帆



右から、丹藤貴監督、宋恵佳、山本怜、相原なつみ



3位 山口県

石川梨良は予選リーグの福岡県戦で前田と弓取に勝利し、ベスト4入りに大きく貢献



3位 青森県

回転量の多い両ハンドドライブが
魅力の宋恵佳は要所で勝ち星を
挙げチームをけん引

